

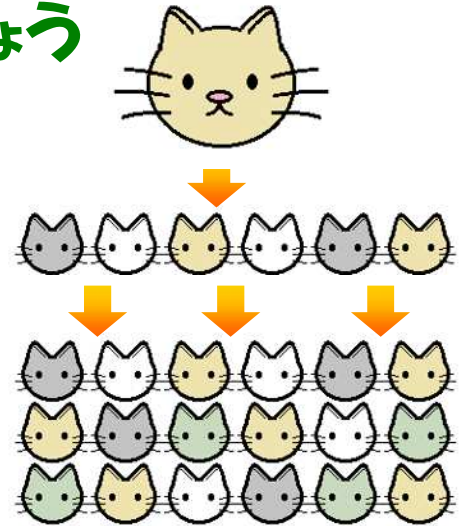
猫を正しく飼いましょう！

猫の飼い主の皆さんへ

◆ 不妊・去勢手術を受けさせましょう

メスは生まれて半年で最初の発情期を迎え、妊娠、出産ができるようになります。年に2~3回、1度に4~6匹の子猫を出産し、その数はあっという間に増えます。さらに、生まれた子猫達も同じように、半年後には親となり、それぞれが出産を繰り返します。

不妊・去勢手術により、猫の増加を防止するだけでなく、オスメスともに発情による独特の鳴き声やケンカ、においも防ぐことができ、家の中での飼養により適応できるようになります。また、生殖器等の病気の発生率を低下させることもできます。



◆ 完全屋内飼育のすすめ



放し飼いの猫は、交通事故、ケンカ、感染症などの危険性が大きく、一般に室内飼育のより短命であると言われています。また、他の家の庭での糞尿や畑を荒らしたりすることで、ご近所同士のトラブルに発展することも少なくありません。猫の健康や周りの環境を考え、屋内で穏やかに過ごせるようにしてあげましょう。

屋外で交通事故や病気のため死亡していた猫 = 847匹 (藤沢市内2014年度) 回収時に飼い主不明だった猫の匹数

◆ マイクロチップの装着もおすすめです

マイクロチップを装着することにより、迷子や災害時、盗難や事故に遭った時に飼い主を判明し返却することができます。

体内に埋め込むため、迷子札等のように脱落や消失の心配がありません。装着時の痛みは注射程度と言われ、装着後のペットへの負担はほとんどありません。



◆ ペットを捨てるのは犯罪です！

犬や猫などの愛護動物を遺棄した者は、100万円以下の罰金が科せられます！！
動物の愛護及び管理に関する法律

